2020 年 7 月 1 日発行

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市実現を目指す ひらかた環境ネットワーク会議 会報

NO. 66
夏号
令和 2 年
(2020 年)

環境ひらかた

ひら環ネット

令和 2 年度 通常総会を開催 新年度がスタートしました!!

去る 5 月 30 日令和 2 年度の通常総会をサプリ村野 2 階「環境保全研修室」にて開催しました。今年は、3 月から続いている新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、会員の皆様には、できるだけ書面議決権の行使、もしくは委任状での参加をお願いし、少人数でソーシャルディスタンスを十分とって開催しました。しかし、多くの会員さんと交流できる機会の一つとして、例年総会後に開催している交流会は中止しました。

総会議案は第 1 号から第 5 号まで、すべて原案通り採択されました。

とは言え、コロナの問題で、どのようになるか先が見通せず、どこまで事業を進められるか不透明な部分はありますが、みなさんと力を合わせてできるだけ事業を進めていきたいと思います。

＊＊＊＊＊目　次＊＊＊＊＊

令和 2 年度通常総会を開催　P 1
理事会報告、小柳さん表彰、MY ゴーヤ、
環境ミニ講座・環境ティールーム　P 2・3
各部会報告　P 4・5
お知らせコーナー　P 6
環境トピックス　VOL. 32　P 7
環境ミニ知識　P 8

通常総会を終え、令和２年度新たにスタートする事業は

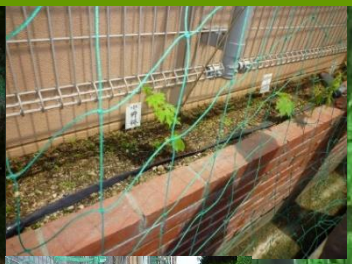
「プラごみダイエット」推進事業です。昨年(2019 年)のエコフォーラムで、市長が「プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ」を宣言したことを覚えておられる方もあるかと思います。

プラスチック製品は、機能性や経済性に優れ、私たちの生活に欠かせないものとなっていますが、ポイ捨てされたり、適切に廃棄されないといったことから、様々な問題を引き起こしています。そこで、ひらかた環境ネットワーク会議では温暖化対策事業の一環として、今年度「プラスチックとうまく付き合ってますか　―プラスチック生活アイデア募集―」に取り組みます。　　**ぜひ皆さんのアイデアをどんどんお寄せください！**

- S-EMS 支援事業
- 環境講座 開催事業
- 温暖化 対策事業
- エコ フォーラム 開催事業
- 環境情報コーナー管理運営事業
- 自然 エネルギー 普及啓発事業
- 中間支援事業
- モビリティ マネジメント 事業
- 人材育成事業
- 環境教育 推進事業
- まちづくり 推進事業
- 広報事業

左記の事業に取り組んでいきます。皆さんと一緒に進められたらいいなと思っています。

MY ゴーヤ！今年も緑のカーテンつくりにチャレンジ



今年もサプリ村野の花壇で省エネ対策の一環としてゴーヤを育て緑のカーテンをつくります。

「家では中々上手く育てることが出来ない」「子どもと一緒にやってみたい」などの声にこたえて、今年も、一緒にゴーヤを育てたい方を募集。緑のカーテン作りにチャレンジしてもらいます。
自分の苗に名前の札をつけ、MY ゴーヤとして育てます。
土作りから肥料のやり方、芽の摘み方など学びながらゴーヤを育てて収穫します。

小柳氏に感謝状を贈呈

今回の総会で、永年環境教育部会で出前授業にご尽力された小柳佳弘さんに対し、その貢献をたたえ感謝状をお贈りしました。またこれを機に、ひらかた環境ネットワーク会議としての顕彰制度を設けることになり、その規定を只今検討中です。

■□■□■ 役員、運営委員紹介 ■□■□■

理　　事：伊丹均、石本正之、市山二郎、川南裕、小出哲男、末岡妙子、谷崎利男、谷本雅洋、豊髙勝、小林雅祥、福井克久、増本勝久、丸井晶子、渡邊宏二、

監　　事：柳谷武志、中塚賢

運営委員：伊丹均、市山二郎、大倉伸之、阪口重樹、阪本征夫、末岡妙子、豊髙勝、丸井晶子、宮村隆喜

役員改選期である今年度の総会で上記役員が承認されました。そして直後に開催された第２回理事会で理事長に伊丹均、副理事長に丸井晶子が選任されました。また総会に先立ち、去る５月 11 日に開催された第１回理事会では上記運営委員が承認され、委員長に丸井晶子が選任されました。役員の皆さんをお写真でご紹介できないのが残念です。

今年度の環境ミニ講座 ＆ 環境ティールーム 前期メニューのご案内

環境ミニ講座

７月 23 日：天の川探検隊
　　― 川遊びで天の川を知ろう ―
８月 22 日：森を遊ぶ
　　― ドングリを使って
　　森の生き物作りに挑戦しよう ―
９月 24 日：炭でコケ玉作り
　　― 炭と里山　その関係って？―

環境ティールーム

７月９日：レジ袋の有料化を考える
９月 10 日：コロナから環境問題を考える
　　― どんなことが起きたのか ―

部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会

ステイホームから新たな発想が生まれました！

環境教育部会では、例年通り４月の新学期を皮切りに、環境出前授業のパンフレットを持って学校訪問を行う予定で各小学校に事前に挨拶状と案内文書を送っていました。

ところが今年は新型コロナウイルス感染症予防の緊急事態宣言が４月７日に発令され、５月 21 日の解除まで学校訪問はもとより、毎月の定例部会も三密の回避と不要不急の外出の自粛（ステイホーム）を受けて、集まることができない状況となりました。

そんな時数人の部会員からネットを使ったテレビ会議をしてはどうかと提案がありました。早速調べてみると無料で使える Zoom 会議システムがあることを知り、４月度はメール会議と Zoom 会議のトライアルを行いました。そして５月度の定例会では、パソコンモニターにいつもより多い参加者の顔が映り、これまでの絆がネット会議でさらに強まった感じがしました。今後も新型コロナウイルス感染リスクはゼロにはならないと思われますが、現在の状況をプラス志向で定例会議をはじめ計画中の「くらわんか塾」や「環境出前授業」にもネットを活用した新たな発想と可能性にチャレンジし、活動を進めていきたいと考えています。

皆さんも環境教育部会で、自分の特技を活動に活かしてみませんか！

自然エネルギー部会

おひさま発電　その次は・・・

平成 19 年 11 月「光の峰保育園」に、枚方市内で初めてとなる“市民共同発電所”を多くの皆さんのご協力によって設置しました。あれから 12 年余りが過ぎ、太陽光発電設備そのものは２年前に契約の満了により「光の峰保育園」に譲渡しましたが、未だ現役で発電し続けています。その「おひさま発電」は、再生可能エネルギーの普及のため、広く皆さんに“見て・知って”関心を持ってもらうための啓発ツールの役目も担っていました。そして、FIT（固定価格買い取り制度）の導入もあり太陽光発電は飛躍的に普及しました。しかしその他の再生可能エネルギーはなかなか広がっていません。

さて、その次の再生可能エネルギーは…というと、火山大国日本においては“地熱発電”が考えられます。そのポテンシャルは原発 23 基分(2017 年資源エネルギー庁データより)に相当するともいわれているのですが、様々な要因がありほとんどが使われていません。様々な再生エネルギーがありその可能性と現状を知ってもらうために活動をさらに進めていきたいと思っています。

螺旋式ピコ水力発電の
デモンストレーション様子

まちづくり部会

活動の新しい形を模索

まちづくり部会は只今やむなく活動を休止中です。

早く皆様と一緒に活動できればと願っていますが、好評をいただいているウォーキングイベントも当分は開催できそうにありません。活動再開となっても、従来通り実施できるかは定かではありません。新しい生活様式に沿った活動の在り方を模索していく必要を感じています。新しい形として一つ例を挙げれば、市民のみなさんが、体力作りや気晴らし等々のためにしておられる散歩やウォーキングがありますが、この散歩やウォーキングを通しての気づきを部会に寄せてもらう。例えば「この場所はちょっと危ない、整備が必要じゃないか」「近所にこんな設備があったなんて知らなかった」「写真に収めたい風景が見つかった」等、「まちづくり」に重要な「まちの再発見」を当部会に情報提供してもらい、そうした情報を取りまとめ「まちづくり」に活かして行くといったことも考えられます。

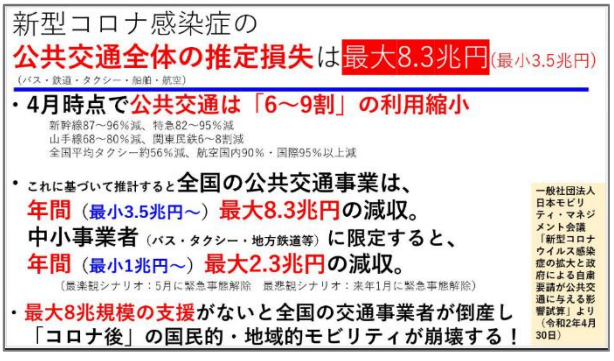
また、まちづくり部会で今年度予定している「ひらかたええとこ再発見」のイベントも、インターネットを利用して投票を募る等、形を変えて実施していければと考えています。

こうした新しい活動のアイデアを皆さんからもお寄せいただければ嬉しいです。これからも社会情勢の変化を柔軟に受け止めて、前向きに活動を続けていければと思っています。

公共交通部会

交通崩壊は起きている!?

平成 19 年 11 月に長年続けてきた公共交通利用促進とまちの魅力再発見を目的としたイベントも春は中止となり、このさき秋のイベントも未定です。公共交通は雇用状況の改善や車離れなどの要因もあって、ここ数年順調に伸びてきました。しかし、このコロナで一転大減収に見舞われており、８月にはなんと半数が倒産し、このままでは交通崩壊が起きると言われています。(左資料参照)



出典：一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会

枚方を走るバスも、まさか倒産はしないと思われますが、大幅な減収に見舞われています。

当部会でも公共交通を守る取り組みも行っていかねばと考えています。

只今啓発ポスターを企画中です。乞うご期待！

お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。　☎072-847-2286

＊＊＊　夏休み短縮に伴う環境情報コーナーの業務について　＊＊＊

この度の新型コロナウイルスの問題で、枚方市立学校園の夏休みの期間は下記の通りとなりました。本来であれば、環境情報コーナーの開所も、学校園の夏休み期間の短縮に連動するのですが、情報コーナーは、例年通り 7 月 21 日から 8 月 25 日までの期間、10 時から 17 時 30 分まで開所し、市民のクールスポットとして活用していただけるようにいたします。尚、利用に当たっては引き続きソーシャルディスタンスを保つとともに、マスクの着用、氏名連絡先等の確認にご協力をいただくなど、感染拡大防止対策を十分講じながら行っていきます。

記

枚方市学校園の夏休み期間：8 月 8 日(土)～8 月 18 日(火)

環境情報コーナー夏季利用時間：7 月 21 日(火)～8 月 25 日(火)の期間は 10 時～17 時 30 分

＊＊＊未使用切手・使用済み切手等について＊＊＊

環境情報コーナーの一角に未使用切手・使用済み切手等の回収コーナーがあります。「ここでこんなものも集めたはんのん？」と、情報コーナーに来て気づいた方々が、持ってきてくださった未使用切手・使用済み切手等を過日“公益財団法人　緑の地球防衛基金”に送りました。財団では、これらの売上金を地球上の緑を守るため開発途上国などの植林の苗木代に充てられています。この度御礼状とともに 2018 年度実績の報告をいただきましたのでお知らせします。

＊＊＊温暖化対策メンバー募集＊＊＊

ひらかた環境ネットワーク会議では温暖化対策事業を進めるために、毎月 1 回“温暖化対策ミーティング”を行っています。温暖化問題に関心を持っておられる方、考えないといけないなと思っておられる方、危機感を持っておられる方、ぜひ私たちと一緒に温暖化対策として、どんなことに取り組めばいいかの話し合いのメンバーに加わってくださいませんか。

とりあえずは見学だけでも大歓迎！！お問い合わせは事務局まで。

次回開催日：7 月 10 日（金）10：00～12：00

2

環境トピック Vol.32

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「令和２年度版環境白書に見る気候変動」と「再生エネルギーの財源が原発事故処理費用に流用」の問題です。

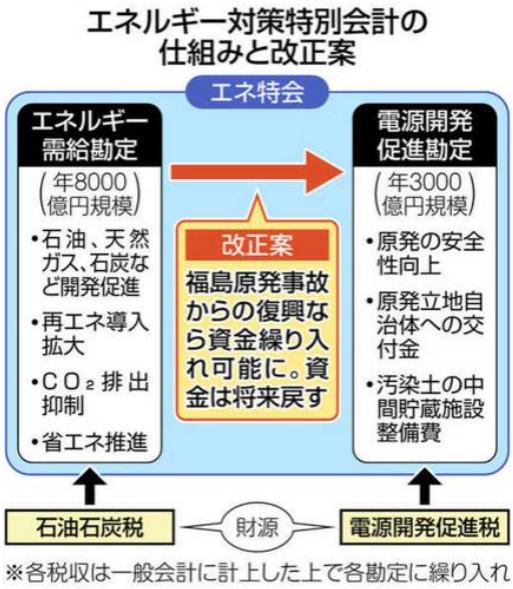
◆令和２年版環境白書に見る気候変動

６月 12 日、政府は令和 ２ 年度版「環境・循環型社会・生物多様性白書（環境白書）」を閣議決定し、国会に提出した。 白書では「気候変動時代における私たちの役割」として、政府・自治体・企業・私たち個人による脱炭素型・自立分散型の社会づくりに向けた具体的な取り組みが記載されている。更に、新型コロナウイルス感染症に対する環境行政の対応についても記載され、コロナ後の経済復興に当たっては、持続可能でレジリエントな（柔軟性のある）経済社会へと再設計していくことが不可欠とし、一人一人ができる取り組みの一つである食やエネルギーの「地産地消」など、自立分散型社会づくりに向けた取り組みの具体例も紹介されている。

さて、白書にみる「気候変動」についての見解は白書の第１部第１章「気候変動問題をはじめとした地球環境の危機」の第 ２ 節で、温暖化の問題について、「気候変動」から「気候危機」へという表現が使われている。にもかかわらず、相変わらず政府は “石炭火力発電の輸出をストップさせない”二酸化炭素実質排出量ゼロをうたっているがその時期については“今世紀の後半、出来るだけ早い時期に”と、極めてあいまいだ。政府に「危機感」はないのでは･･･と思うのは筆者だけだろうか。

◆再生可能エネルギーの財源が原発事故処理費用に

少し古い話で恐縮だが、３ 月 18 日付の朝日新聞に、東電が負担するはずの原発事故の処理費用が予想の ２ 倍なる見通しから、政府は、再生可能エネルギーのための限定予算を流用できるようにする「エネルギー対策特別会計改正案」を閣議決定し国会に提出したとあったが、その法案が６月予算国会で採択された。 コロナ対策のどさくさに紛れて、また、「震災復興関連予算」と抱き合わせでの通過であった。



ところで、エネルギー対策特別会計の財源に、「電源開発促進税」がある。これは電気料金に上乗せされ、電気利用者が負担しているのだが（知らずに払っている人も多いのではないだろうか）その財源から、原発事故処理にどれだけの資金が繰り入れられ、いつ繰り戻されるのかが明確にされないまま法案は成立した。

多くの国民が原発に反対している中で、このようなことが許されるのだろうか。

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。

プラスチックによる健康被害って？

プラスチックが問題にされていますが、私たちの身体への被害はあるのでしょうか？

プラスチックの材質は大きく 7 つに分類されます。その中で避けたいものは PVC、V（塩化ビニル）や、PS（ポリスチレン）です。PVC、V（塩化ビニル）は柔軟剤として使用されているフタル酸類が熱に弱く溶けだして体内に取り込まれやすく喘息や肺に影響を与える恐れがあると言われています。また製造過程や燃焼時にダイオキシンを放出することも問題です。PS（ポリスチレン）は熱に弱く、がんや神経障害を引き起こす恐れがあると言われています。

しかし上の 2 つ以上に絶対避けたいものは、その他として分類されている中の、BPA（ビスフェノール A）です。これは、生殖機能への影響や、糖尿病、癌、子供の 学習障害等々と様々な障害や病気との関連があると言われており、フランスでは食品に直接触れるものへの使用は禁止になっているほどです。

ペットボトルの疑問！？

ペットボトルがリサイクルされているといっても問題は山積み！サーマルリサイクルが 58%で、マテリアルリサイクルが 23%、ペットボトルからペットボトルへは 5%程度だそうです。

ひとこと

コロナが心配される中、無事総会も終わり「さぁ」と、気合を入れてはみたものの、様々な制約がありなかなか例年通りの事業をスタートさせるという訳にはいきません。なかでも、環境教育部の「出前授業」と S-EMS の支援事業は、学校に出向いていく事業だけに、現在の学校の状況を考えると一番難しいなと思います。

とは言え「どうしよう…」と悩み、心配ばかりしていても仕方ないので、持ち前の能天気さで、あまり深く考えないで前向きにできることから取り組んでいます。応援よろしくお願いします。　子

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第66号

令和２年７月１日発行（年４回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町５番１号
サプリ村野内（旧村野小学校）
電話　072-847-2286
FAX　072-807-7873
Eメール　jimukyoku@hirakata-kankyou.net
ホームページ https://hirakata-kankyou.net/
発行責任者：伊丹 均　　編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています